

「ふるさと創生アイデア」の入選作品が決定しました。
 八月八日、ふるさと創生アイデア審査委員会は、応募アイデア八十一件の中から五件の入選作品を選び、猪股武雄会長から滝沢市長に審査報告書が手渡されました。市では、今後「ふるさと創生事業」として実施する事業を、具体化してまいります。

ふるさと創生アイデア王国の建設
 白根市一周
 ふるさと巡りサイクリングロードの建設
 ふるさと園路の整備
 白根ふるさと館の建設
 ふるさと基金の創設

ふるさと創生アイデア
 入選作品が決まりました



8月22日、入選者と滝沢市長との懇談会が開かれました

フルーツ王国の建設

消費者の皆さんから楽しんで参加してもらい、収穫の喜びを味わってもらえる果樹観光農園を夢見て、次のような夢の王国づくりを考えてみました。題して「フルーツ王国または共和国」です。

私の住んでいる茨倉根は、モモを中心とした果樹の産地です。モモはもちろんですが、ブドウ、リンゴなどいろいろな果実があります。その中心は選果場です。



吉沢 実さん
 47歳、中経
 まつもと 果樹を
 こも 農業専
 丸 22年専
 わ 22年専
 ざ 丸 22年専
 よし 47歳、中経

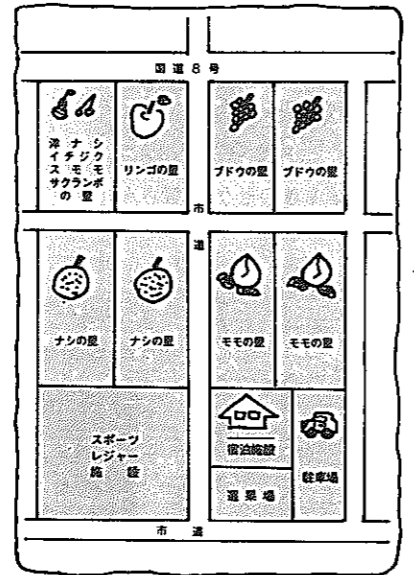
果樹関係の役員をやっているものですから、若い人とたびたび話す機会があります。そのときの話や自分で常日ごろ考えていることをアイデアとして応募しました。
 「県下に誇る茨倉根の果樹を将来どうしたらいいのか」と考えたとき、地域や組織を挙げて消費者との交流をもっともっと深めていくことが重要だと思っております。

そこで、選果場を中心に十畝（できれば二十畝）の果実園地を造り、そこに「モモの里」、「ナシの里」、「ブドウの里」、「リンゴの里」、「洋ナシの里」それにサクランボ、イチジク、スモモと、日本中の、いや大きくいえば世界中の果物を作り出す。そして、消費者の皆さんからも参加してもらうために「駐車場」、「宿泊施設」、「欲をいえば「遊園地」「スポーツ施設」も造り、家族みんなで楽しめる観光レジャー農園「フルーツ王国」をつくるのです。
 また、木を貸すオーナー制度、株主制度などをつくり、休みのときは家族で来て、泊まって農家の人たちといっしょに働き、酒を酌み交わし、語り合っ

てお互いに助け合っていければと思います。
 最近の農業情勢はほんとうに厳しく、私は果樹専業農家として規模拡大を図ってききましたが、それに伴い労力が多く必要になり、自家労力ではどうにもならなくなってきました。また、農村には二十代の後継者がいないのです。このままではいくと、後継者がなく荒れた畑があちこちに出てきます。産地の崩壊にまでつながるかもしれません。
 そこで、年をとっても働くこ

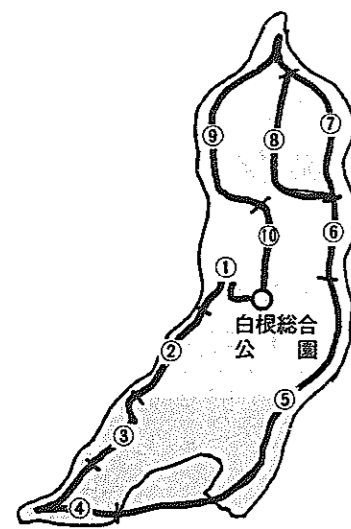
とができ、みんなで助け合い、産地を守り、また消費者の人たちからも労力を提供してもらい、お互いに楽しめる「フルーツ王国」をつくることができればと思います。

フルーツ王国構想図



白根市一周 サイクリングロードの建設

白根市の名所、旧跡、特産物生産工場や、四季折々の農産物の生産施設を巡るサイクリングロードを建設します。市道や農道を利用するとともに、新たに専用自転車道や連絡道を設置したなら、すばらしいサイクリングロードができることでしょう。



- ① 特産物・大風ロード
- ② 中ノ口川リバーサイドロード
- ③ 桃源郷ロード
- ④ 良寛・有願歴史ロード
- ⑤ 信濃川リバーサイドロード
- ⑥ フラワーロード
- ⑦ フルーツロード
- ⑧ 野菜ロード
- ⑨ チュード
- ⑩ 浦原地平線ロード

サイクリングロードの建設



渡辺十寸雄さん
 お昔は
 ますの口、昔は
 べ・みの口、昔は
 なべ・みの口、昔は
 わたなべ・みの口、昔は

県内には、蒲原サイクリングロードや頭城サイクリングロードなどがあります。できれば、その延長線上で、県を横断するサイクリングロードを白根に造ればよいと思いましたが。
 サイクリングは、子どもから大人まで、だれでも気軽に楽しめるスポーツです。ふだん見過ごされがちな、白根の四季折々の景観が望めます。